

栗原…どんなスポーツも守り  
ばっかりやつて、失点をしな  
ければ勝てるかなつていった  
ら、そんなことはないですよ  
ね。得点しなきゃ、結局勝て  
ません。ぜひみんなにこうで  
あつてほしいですね。失敗を  
許す文化、そして自分でもそ  
れをさらけ出して失敗したら、  
必ずネタにすることが明るく  
生きるこつなんです。

面白おかしくアレンジをし  
て、「こんなことやつちやつ  
てさ」っていうので、オープ  
ンにした時に、それが強みに  
なつて、周りの人に勇気を与  
えると思うので、ぜひ皆さん  
で、輝くカラフルな世の中に  
しましよう。

**大久保**…ありがとうございます  
した。

〔鼎談動画  
「インクルージョンで  
子どもたちの才能を！」〕

中学校一年生の学級を持っ  
た五月のある日、下校後に「娘  
がまだ帰宅していない」との  
連絡が保護者から入り、先生  
方と学校内や校庭、体育館、  
通学路を懸命に捜索したこと  
があった。中々見つけること  
ができず、保護者が警察に相  
談しようとしていた時、その  
生徒からよく小学校の話を聞  
かせてもらっていたことを思  
い出し、もう一度、通学路に  
ある小学校の体育館を捜索さ  
せてもらうことになった。する  
と、体育館ステージの袖で、



千葉県我孫子市立  
我孫子第二小学校  
元校長  
**鍵山 智子**

## 学校のちょっといい話㉖

「ご縁に感謝して…  
心と心のつながり…」

数も少なく、あまり自分を語  
ることはない彼女であつたが、  
三年次には体育祭や文化祭、  
歌声活動にも熱心に取り組み、  
絵を描いたり、小動物が好き  
なことを級友に話すようになつ  
ていった。

それから数年後の年末、私  
の携帯電話に、「彼女が家に帰  
つてない」との連絡が保護者  
から入つた。急いで、仕事を

教科書やノート入りのバッグ  
を背負つたまま、スヤスヤと  
居眠りしている彼女を見つけ  
た。幸い怪我もなく、ほつと  
した。彼女曰く、帰宅途中に  
体育館のドアが開いていたの  
で、少し休んでいこうと思つ  
てそのまま居眠りしたとのこ  
と。自宅まで送り届ける道す  
がら、保護者や周りの人があ  
ても心配したこと伝え、ま  
ず、一度家に帰つて保護者に  
連絡してから行動をしてほし  
いと話した。一年次には、口  
数も少なく、あまり自分を語  
ることになつていたことを思い  
出した。当時の学級委員に電  
話し、幾人かのクラスメート  
とも電話でつながつた。近隣  
の同級生やその保護者も彼女  
が立ち寄りそうな場所を見当  
つけて捜してくれた。

数日が経つて、もうこの地  
域にいないのでほど不安に思つ  
たとき、夜更けのコンビニに  
彼女らしき人物がいたとの情  
報が寄せられた。さつそく、  
翌日、そのコンビニに行つた  
ところ、運よく彼女と遭遇す  
ることができ、無事保護者と  
引き合わせることができた。「な  
ぜ家に帰らなかつたのか」と  
聞いたところ、通学していた

終え、彼女の家に向かうと、  
自治会の方も心配して一緒に  
彼女の行きそなう場所を捜し  
てくださつていた。私も彼女  
と聞き、駅周辺にいないか、  
地域の方と共に懸命に捜した  
が、その日に見つけることは  
できなかつた。ふと、その時  
に、成人式には中三最後の学  
級委員が同窓会の幹事をする  
ことになつていたことを思い  
出した。当時の学級委員に電  
話し、幾人かのクラスメート  
とも電話でつながつた。近隣  
の同級生やその保護者も彼女  
が立ち寄りそうな場所を見当  
つけて捜してくれた。

専門学校での人間関係がうまくいかずに悩んでいたことが引き金であったようだ。

実は、この時に情報をくれた同級生は、たまたま仕事で遅くなり、夜更けのコンビニに寄つたら、彼女がいるのでびっくりして、電話を入れてくれたのだ。偶然とはいって、同級生を思つていてくれたことに改めて感謝した。今にして思えば、中学校卒業後は、母校にくる生徒は限られ、成人式で会えればよいが、就職先が遠方だと疎遠になりがちである。同級生の保護者も然りである。

しかし、子どもの頃に出会い、生活や学習を通して築いた「縁」は、子どもも保護者も教師も「何かの時には、きちんと繋がっている」ことをこのエピソードを通して改めて気づかされた。このような出会いの「縁」が、お互いを思い合える良い縁となつて広がるように、これからも働きかけていきたいと思う。

## サタモラ 隨時リニューアル！

### ＜リニューアルポイント＞

- 1.毎週土曜日 朝7時更新！
- 2.時間を短めに！（約10分）
- 3.字幕が入って見やすく！



全部おすすめですが…  
特におすすめです！→

ホームページ



おすすめ動画



鹿澤大学の  
魂の授業

これが学費に  
見合った授業！

教育応援 配信番組  
第40回 サタモラ  
Saturday-Moral

授業は

魂の書き合いであります  
学生は学費に見合った  
授業を受ける権利がある

◆編集後記◆  
編集長  
大久保 俊輝



E-mail kyoiku@moralogy.jp



安倍元総理が演説の最中に凶弾に倒れました。その出来事はあまりにもショッキングで安全日本のイメージが一挙に崩れ去つたと感じました。さらにネット被害や誹謗中傷が横行しています。その反面、癌と闘いながら街頭補導を続けた夜回り先生こと水谷修先生が「残された命を使いたい」と澄んだ目で語ってくれたことを思い出します。それとともに、あろうに、引き合いに出して街頭演説で注目を得ようとした低俗な参議院候補者が話題になっています。これらのはあつてはならない出来事は、道徳の衰退が原因になつているのではないかでしょうか。不幸な事件や事故には必ず原因があります。それらを予知する「感性を磨く」のも「道徳の役割」と私は思います。今回の執筆者は全てがその実践者です。だからこそ説得力があるのです。道徳は能書きではありません。感動を呼び起こし、行動を促す必要があるので、行動できる道徳に昇華させて参りましょう。「行動こそ雄弁」と叫んだのは、あの大哲学者ソクラテスです。

購読希望の方は、左記フォームをご利用ください。（お問い合わせ先）  
電話 04・7173・3219